

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会
川崎北部地区災害対策キャラバンが開催されました。
神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次

去る平成 27 年 11 月 15 日(日)新百合ヶ丘総合病院におきまして
「災害対策委員会 川崎北部地区災害対策キャラバン」が開催されました。

昨年度より災害対策研修会と並行して、神奈川県内における二次医療圏域に準じた形で、本会独自に地域ブロックごとの災害時における連絡・調整担当(エリアコーディネーター)を配置しました。有事の際には、有効に機能する災害リハビリテーション支援ネットワークを構築していくために、今回はその第 3 回目として川崎北部地区を対象とした災害対策キャラバンを開催しました。

講師には川崎市役所より早川雄大氏(総務局危機管理室 啓発予防担当係長)、鮫島あゆみ氏(健康福祉局健康増進課 担当係長)に加え、実際に(公社)日本理学療法士協会一次派遣隊として陸前高田や石巻で災害支援ボランティアとして活動した松田梓氏(川崎中部リハビリテーションセンター)を迎え川崎市における防災計画から、災害時の医療支援体制や要援護者対策について、保健師の具体的な平時の地域保健活動からリハビリテーションとの連携についてお話しいただきました。



川崎市にて想定している大規模災害時の避難者数は 13 万人を超えると試算されています。早川氏からは、要援護者支援対策や避難所の設置条件、東日本大震災の課題を踏まえた実効的な新しい災害時医療救護体制防災について現在進行中のプロジェクトや詳細なデータも教示していただきました。また鮫島氏からは、普段の地域保健活動と災害時の対応が繋がっている事、松田氏からも平時からの顔の見える関係性づくりが災害時のみならず地域包括ケアシステムにも直結する事の重要性をお話いただきました。

今回も多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。またエリアコーディネーターとして事前の打ち合わせから積極的なご協力いただきました大森豊先生、会場の手配・調整を引き受けてくださいました新百合ヶ丘総合の古川広明先生と当日の運営を手伝っていただいたスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。



本キャラバンをきっかけとした、災害リハビリテーション支援ネットワークの基盤づくりとして各ブロック・地域ごとの行政機関や保健センターなどとの連携を深めていくようにしていきたいと考えています。次回は平成 28 年 2 月 28 日(日)より国際医療福祉大学にて「県西部地区 災害対策キャラバン」を開催する予定です。また来年度も災害対策研修会と各ブロックを対象にした災害対策キャラバンを予定しています。より多くの方々のご参加をお願い致します。